

第30回 全国街路事業コンクール受賞 事業一覧

国土交通大臣賞

西武鉄道池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅間）連続立体交差事業
東京都建設局道路建設部

会長賞

京都駅八条口駅前広場整備事業
京都市建設局道路建設部道路建設課

会長賞

横浜国際港都建設道路事業3・4・51号岸谷生麦線
横浜市道路局

優秀賞

都市計画道路3・3・31南1条通整備事業
札幌市建設局土木部

優秀賞

長岡都市計画道路事業3・2・31号 台町川崎線
長岡市土木部道路建設課

特別賞

京浜急行電鉄本線及び同空港線（京急蒲田駅付近）連続立体交差事業
東京都建設局道路建設部

特別賞

都市計画道路 寺町今町線（東山）無電柱化推進事業
石川県県央土木総合事務所

国土交通大臣賞



西武鉄道池袋線 (練馬高野台駅~大泉学園駅間) 連続立体交差事業

東京都建設局道路建設部

事業概要

本事業は、西武鉄道池袋線の練馬高野台駅から大泉学園駅間の約2.4kmの区間を高架化することにより、踏切を除却したものである。
このことにより、踏切の除却効果として得られた安全性確保や輸送サービスの向上、広域道路ネットワークの形成、南北に分断されていた市街地の一体化がもたらす地域活性化の創出を実現した。

表彰理由

本事業により9か所の踏切が除却されたことで、交差する3本の都市計画道路をはじめとした交通渋滞が解消され、平均旅行速度も2倍に改善するなど、人や車が安全、快適に通行できる環境が実現したことが高く評価された。
施工にあたっては区間を分け、地権者数が少なく事業用地が確保しやすいところから先行して着手したことにより、早期に事業効果を発現させることにも成功している。
石神井公園駅のデザインは、コンテストを実施した上で地元の方々の意見も取り入れ決定していることも特徴である。また、本事業も契機となり、周辺において再開発事業や駅前広場整備が進むなど、まちづくりが促進するとともに、新たに生み出された鉄道の高架下空間においては、地域のニーズを踏まえ、不足していた保育所や駐輪場等の施設を設置するなど、地元住民と密接につながる事業となったことが称賛された。

事業延長: 西武鉄道池袋線 約2.4km / 踏切
解消: 9か所 / 事業費: 約500億円 / 事業期間:
平成19年度~平成28年度



会長賞

京都駅八条口 駅前広場整備事業

京都市建設局
道路建設部道路建設課

事業概要

本事業では、「『歩くまち・京都』の玄関口」、「京都の顔」、「まちの賑わい」の3点を整備の基本方針として、駅前広場として必要な機能・施設の配置を見直すとともに、八条通の車線数の減少、パーキングチケットの廃止により生み出された空間を有効活用することで、交通の整序化と安全かつ円滑に移動できる空間を実現した。

表彰理由

観光客や修学旅行生等多くの人が訪れる京都駅において、限られた空間を再編成し、観光都市・京都の玄関口にふさわしい憩える空間・たまり空間を創出したことで、南口発展の起爆剤となり得ることが高く評価された。
また、交通の整序化、安全で円滑な移動に資する解決策として、駅中央に集中して分かりづらかったバス・タクシーの動線を分離するとともに、客待ちをするタクシーの待機列を解消するため乗り場から離れた場所に待機場所を設ける（ショットガン方式）などを、地元住民や関係事業者によるエリアマネジメント会議を通じて実現している。
また、「みやこ夢てらす」の整備や既存の「サンクンガーデン」の改築など、新たな魅力づくり、賑わいづくりに繋がったことも評価された。

事業延長: 740m / 幅員: 36m~74m / 事業費: 約46億円 / 事業期間: 平成25年度~平成28年度



事業前



事業後



会長賞

横浜国際港都建設道路事業 3・4・51号岸谷生麦線

横浜市道路局

事業概要

本事業は、国道1号と都市計画道路東京大師横浜線とを連絡するとともに、首都高速横浜北線に接続する街路を整備したものであり、JR東海道本線等で南北に分断されていた市街地を一体化し、交通渋滞の解消、交通事故の削減、都市内交通の円滑化を実現した。
整備にあたっては、地元住民との定期的な対話会による工事進捗の説明に加え、地元企業との提携による高架下の緑化など、地域の課題解決のための取組を実施した。

表彰理由

本事業は、起伏のある地形や鉄道及び幹線道路との交差において、トンネルや高架により立体的に処理することで、ネットワークとしての利便性、安全性を高めただけでなく、鉄道や国道の上を架設しなければならないという難しい制約条件の中、首都高速横浜北線そのものとデザインなども一体的に整備したことが高く評価された。特に、これまで欠けていた国道1号と国道15号を接続する新たなネットワークを実現し、災害時の緊急輸送道路や避難経路として、地域の防災力強化等にも大きく寄与するものとなった。また、遮音壁や坑門の形状、法面の緑化など、周辺環境への調和も意識するとともに、地元企業との提携による高架下の緑の空間創出や、並行する旧東海道の歴史を生かしたウォーキングイベントに取り組むなど、地域の魅力づくりに向けた取組にも好感が得られた。

事業延長: 1,200m / 幅員: 17m / 事業費: 約254億円 / 事業期間: 平成13年度~平成29年度



優秀賞

都市計画道路 3・3・31南1条通整備事業

札幌市建設局土木部

事業概要

本事業を含む南1条通は、東札幌地区から都心部を経由し、円山地区に連絡する重要な幹線道路である。また、広域避難場所である円山公園への避難路として防災対策上も重要な路線に位置づけられている。

本事業は、お洒落な通り通称「裏参道」と呼び親しまれている区間について、ワークショップや意見交換会など地域住民との意見交換を行いながら、道路景観に係る整備内容等を決定し、整備を行った。

表彰理由

道路拡幅や電線共同溝整備を行ったことで、交通渋滞が緩和されただけでなく、車道に整備した停車帯を、夏期は自転車の利用に、冬期は堆雪スペースとして有効に利用するなど、地域の気候風土に対応した街路の有効利用方法を実現したことが高く評価された。

また、本事業の整備の中で、車両の走行性を優先していた従前の線形を変更し、あえてクランク状に改良した箇所があり、歩行環境の改善や安全性の向上につながったことが、示唆に富む事例として好評を得た。

併せて、隣接する三角の公園も拡大再整備したことで、明るく使いやすくなったと地元住民からも喜ばれ、人が集まる空間づくりに貢献したことも、表彰に値するものである。

事業延長: 880m / 幅員: 18m / 事業費: 約42億円 / 事業期間: 平成12年度~平成28年度



優秀賞

長岡都市計画道路事業 3・2・31号 台町川崎線

長岡市土木部道路建設課

事業概要

本事業は、JR長岡駅と国道17号長岡東バイパスを結ぶ重要な幹線道路であるとともに、沿道には行政機関や県立高校2校が立地するなど市街地の新たな骨格となるものである。

既成市街地において大手橋の架け替えを含む4車線化を実施し、交通の円滑化、安全で快適な自転車歩行者空間の確保、除雪作業の効率化による冬期の通行確保、防災機能の強化を図るものである。

表彰理由

本事業により、広幅員の自転車歩行者空間が整備されたことで、長岡駅と高校等を連絡する安全で快適な空間が確保された。また、通常は冬期の堆雪帯として活用する余剰空間を、植栽帯や自転車通行指定部分として舗装を分けるなど、雪のない時期も意識した街路景観の向上にも取り組んだことが高く評価された。

さらに、沿道のマンション管理団体による植栽帯の花壇利用を認めたことで、四季折々の花々を楽しめる空間となっていることも表彰に値するものである。

また、土地区画整理事業との連携により広域交通体系の形成や中心市街地へのアクセス向上を実現したことで、市街地形成が促進され、雇用創出と人口増加に寄与したことも評価された。

事業延長: 623m / 幅員: 32m / 事業費: 約44.2億円 / 事業期間: 平成18年度~平成28年度

特別賞

京浜急行電鉄本線及び 同空港線（京急蒲田駅付近） 連続立体交差事業

東京都建設局道路建設部

事業概要

本事業は、京浜急行電鉄本線の平和島駅から六郷土手駅間約4.7km、同空港線の京急蒲田駅から大鳥居駅間約1.3kmの区間を高架化することにより、28か所の踏切を除却したものである。これにより、環状8号線等の慢性的な渋滞解消を実現するとともに、鉄道で東西に分断されていた市街地が一体化されることで、地域活性化の基盤を実現した。

表彰理由

箱根駅伝の名所となっていた第一京浜や環状8号線といった幹線道路を含めた28か所の踏切が除却されたことで、道路ネットワークが形成され、交通渋滞や地域分断を解消するとともに、人やモノの流れが安全かつスムーズになり、地域の活性化に貢献した。事業範囲を最小限に抑えながらも、連続立体交差や駅前広場の必要な機能を確保し、求められる事業効果を発現させていることも評価された。施工面では、営業線の真上に跨ぐ形で高架橋を構築することで、事業期間の短縮化が実現された。また、羽田空港アクセスが大きく改善するなど、都市に対して大きなインパクトを与えたプロジェクトであることも、表彰に値するものである。

事業延長： 京浜急行電鉄本線約4.7km、同空港線約1.3km / 踏切解消： 28か所 / 事業費： 約1,933億円 / 事業期間： 平成12年度~平成28年度



事業前



事業後



事業前



事業後

特別賞

都市計画道路 寺町今町線（東山） 無電柱化推進事業

石川県県央土木総合事務所

事業概要

本事業区間は、金沢市の主要な観光拠点である「ひがし茶屋街」や「卯辰山麓伝統的建造物群保存地区」に隣接する幹線道路であり、沿線には観光バス駐車場が立地するなど、「ひがし茶屋街」等の玄関口となっていることから、歴史的な街なみ景観の創出が求められているところである。本事業は接続する市道と連携し、一体的な無電柱化事業を行ったものである。

表彰理由

非常に多くの観光客で混雑する「ひがし茶屋街」へのアクセス道路を無電柱化し、金沢観光の目玉を生かした魅力づくりに貢献したことが評価された。電線共同溝方式では地中化が難しい歩道幅員の中、歩道上に設置する地上機器を道路敷外の公共駐車場に集約配置したことや車道下に残されていた既存の占用管を道路付属物である電線共同溝として活用したことなどにより、解決策を見出したことが特徴的だった。さらに、地域特性を生かした景観づくりを行うため、地域住民が主体となった協議会で、歩道の舗装や街灯のデザイン検討に取り組んだことも評価された。

事業延長： 280m / 幅員： 15.5m / 事業費： 7.35億円 / 事業期間： 平成23年度~平成28年度



事業前



事業後



第30回 全国街路事業コンクールの結果について

全国街路事業促進協議会では、国土交通省の後援を受け、平成元年から「街路整備に優れた業績をあげている地方公共団体等を表彰し、望ましい街路事業の推進と整備基準及び技術水準の向上を図ること」を目的として、「全国街路事業コンクール」を実施しています。

第30回全国街路事業コンクールでは、全国の都道府県から推薦された19事業について、審査委員会（審査委員長 高橋洋二 東京海洋大学名誉教授）による、第1次審査（平成30年1月31日）及び、第2次審査（平成30年5月10日）の厳正なる審査を行い、7事業の入賞が内定しました。

その後、全国街路事業促進協議会役員会（平成30年6月14日）において表彰事業として決定しました。



第30回全国街路事業コンクール審査委員会 委員による審査所感

委員長 | 高橋洋二 / 東京海洋大学 名誉教授

受賞された事業関係者の皆様に心からお祝い申し上げます。審査委員会は街路のデザイン・工法だけではなく、街づくりへのインパクト・地域の参加度などを総合的に評価し、慎重な審議を経て受賞事業を選定させていただきました。これらの事業が全国の街路事業関係者の意識や技術の向上に役立ち、街路事業に対する国民の理解を深めることが出来れば幸いです。

委員 | 佐々木葉 / 早稲田大学 理工学術院 教授

街路をつくる仕事とは都市を、まちを、人々の暮らしの場をつくる仕事です。空間と機能を確保するだけでも大変ですが、そこから沿道や接続街路へ波及するまちづくりとなっているか、あるいは将来展開するデザインの力があるかを重視して審査しました。受賞事業における工夫や成果が、次の仕事へのエールとなることを期待しています。

委員 | 三好礼子 / エッセイスト 元国際ラリースト

赴いた時の直感、環境に溶け込んでいる様、未来への可能性を大切にしています。その空間に居ただけで幸せになり、住みたくなるような町や道。かつて私も渋滞に悩まされた西武池袋線の連続立体高架は、駅や店舗や沿線道に深く感銘。二つの高校に挟まれた長岡の台町川崎線は、行き交う老若男女の笑顔で花が咲き、人がいてこそその街路だと実感させられました。

委員 | 野原卓 / 横浜国立大学 大学院 准教授

今回から、審査に参加させていただきましたが、今回受賞された事業の特徴として、暮らしや生活、動きなどに想いを馳せた街路事業が多かったように思います。街路は、誰もが一日に一度は通り、そして、一度に何本ものみに巡りあいます。ぜひ、まちや地域のネットワークの中で、暮らしや営み、動きに思いの届く事業が増えることを願います。

委員 | 吉岡耀子 / 交通ジャーナリスト

応募資料からは街づくりへの願いが感じられました。それぞれの街が、交通渋滞や通学路の危険、観光客増加などに悩み、協力し合って解決を目指した実態が浮かび上がります。西武鉄道池袋線、京都駅八条駅前広場は、ともに都会の限られた空間がパズルのように見事に組み合わせられ、新しい駅から街の力が生まれた感があります。

委員 | 森本章倫 / 早稲田大学 理工学術院 教授

街路の果たすべき役割は多様ですが、近年「人や環境にやさしい」都市づくりへの貢献が注目されています。新しい時代のニーズに合った街路事業であることを念頭に、審査に携わりました。本コンクールで選出された街路事業が、持続可能な都市にむけた優れた事例として参考されることを期待しています。

委員 | 大川朝子 / 株式会社昭文社 出版推進事業部

受賞事業は整備によって街が活気づき、市民にとって嬉しいだけでなく、初めて訪れた人もワクワクする、“明るい未来が見える道”ばかりです。長岡市では「この道ができたスピードも街の開け方も早く、可能性を感じる」との市民の方の声が印象的でした。街路事業が暮らしと街の特性を十分考慮し、地域と一体化されることの重要性を今回の審査で痛感しております。

委員 | 渡邊浩司 / 国土交通省 都市局 街路交通施設課長

コンパクト+ネットワークのまちづくりが求められる中で、街路事業も大きな転換点を迎えています。単に「つくる」だけでなく、人々にどう「使ってもらえる」のか、「街の価値を高める」ことにつながるのか、ということが大事になってきており、そうした観点から選定を行いました。会員の皆様にもぜひ新たな観点で街路事業に取り組み、積極的にコンクールに応募頂ければと思います。

全国街路事業促進協議会とは

目的

都市計画道路の速やかな整備、充実に積極的に推進することを目的として、昭和40年に設立されました。平成30年5月現在の会員数は、都道府県・政令指定都市・区市町村を含め987団体で組織されています。平成26年6月より、横浜市長が会長に就任しています。

主な活動

- 1 総会・大会及び、政府・国会や地元選出国會議員への支援・協力の要望
 - (1) 概算要求に合わせ、6月に通常総会を開催し、決議及び要望活動等を実施しています。
 - (2) 年末の予算編成時に合わせ、11月に都市4団体との共催において、都市基盤整備事業推進大会を開催し、決議及び要望活動等を実施しています。
 - (3) 11月に道路4団体との共催において、安全・安心の道づくりを求める全国大会を開催し、決議及び要望活動等を行っています。
- 2 街路事業の促進に向けた会員相互の啓蒙活動や意見交換等の実施
全国9つのブロックに分かれ、事業の促進に関する事項の会議を開催しています。
- 3 全国街路事業コンクール
街路事業の推進と、整備基準及び技術水準の向上を目的として平成元年から毎年開催し、街路事業の整備を通じ地域経済の発展と住民福祉の向上に資する優れた業績をあげている地方公共団体等を表彰しています。

全国街路事業コンクール 歴代大臣賞受賞事業一覧

第1回 常磐浜寺線整備事業 大阪府土木部交通政策課 / 大阪府	第15回 都市計画道路 開運橋飯岡線街路事業 岩手県盛岡市建設部 / 岩手県
第1回 若宮西町緑陰歩道整備事業 豊田市都心整備対策室施設整備課 / 愛知県	第16回 西鹿児島駅前広場整備事業 鹿児島県鹿児島市 / 鹿児島県
第2回 予讃線丸亀駅周辺市街地活性化事業 香川県善通寺土木事務所 丸亀市都市開発部 / 香川県	第17回 都市計画道路 伊万里駅前線整備事業 佐賀県伊万里市 / 佐賀県
第3回 都市計画道路 鴨川東岸線整備事業 京都市建設局 / 京都府	第18回 都市計画道路尼崎港 川西線外3線街路事業 兵庫県阪神南県民局・阪神北県民局 / 兵庫県
第4回 都市計画道路 元寺小路七北田線 (将監トンネル) 整備事業 仙台市建設局 / 宮城県	第19回 東京都市計画道路幹線街路 環状第8号線整備事業 東京都建設局 / 東京都
第5回 都市計画道路 宮瀬新橋上金井線改良事業 長野県松本市都市開発部 / 長野県	第20回 大阪都市計画都市高速鉄道 JR阪和線連続立体交差事業 大阪市建設局 / 大阪府
第6回 都市高速鉄道阪急京都線 (高槻市駅周辺) 連続立体交差事業 大阪府土木部 / 大阪府	第21回 JR土讃線連続立体交差事業 (高知駅付近) 高知県土木部 / 高知県
第7回 福岡都市計画都市高速鉄道 西日本鉄道大牟田線 (福岡～平尾間) 連続立体交差事業 福岡市土木局 / 福岡県	第22回 調布都市計画道路3・2・6号 調布保谷線 東京都北多摩南部建設事務所 / 東京都
第8回 山陽電鉄本線連続立体交差事業 都市計画道路駅前線 (駅前広場) 整備事業 兵庫県土木部 明石市都市計画部 / 兵庫県	第23回 川内南小泉線 (安養寺工区) 道路改築事業 仙台市建設局道路部 / 宮城県
第9回 都市計画道路中央線整備事業 秋田県角館町建設課 / 秋田県	第24回 山手幹線街路整備事業 (震災復興事業) 兵庫県・神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市 / 兵庫県
第10回 東京都市計画道路 幹線街路 環状第8号線井荻立体化事業 東京都建設局第三建設事務所 / 東京都	第25回 徳島東部都市計画道路 徳島東環状線 阿波しらさぎ大橋整備事業 徳島県 / 徳島県
第11回 岐阜駅周辺連続立体交差事業 都市計画道路米町竜田町線他 (駅前広場整備事業) 岐阜県基盤整備部都市整備局 岐阜県岐阜市都市計画部市街地整備局 / 岐阜県	第26回 JR奈良駅付近連続立体交差事業 奈良県 県土マネジメント部 まちづくり推進局 地域デザイン推進課 / 奈良県
第12回 仙石線連続立体交差事業 仙台市建設局道路部 / 宮城県	第27回 東京都市計画道路幹線街路 環状第6号線整備事業 東京都建設局 / 東京都
第13回 都市計画道路 環状2号線街路整備事業 横浜市道路局 / 神奈川県	第28回 大分駅付近連続立体交差事業 大分県土木建築部都市・まちづくり推進課 / 大分県
第14回 都市計画道路 環状通 (北大構内) 整備事業 札幌市建設局土木部街路課 / 北海道	第29回 東京都市計画道路幹線街路環状第2号線 (新橋・虎ノ門間) 整備事業 東京都第一建設事務所 / 東京都